

令和元年9月市議会 教育厚生委員会資料

第104号議案 令和元年度長崎市一般会計補正予算（第3号）

目次

【3款 民生費】

説明書
記載頁

認可外保育施設等利用給付費（3.2.1）…………… P 1～ 5（P 22～ 25）

放課後児童健全育成費（3.2.1）…………… P 6～ 8（P 22～ 25）

こども部

令和元年9月



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
22~25	3 民生費	2 児童福祉費	1 児童福祉 総務費	1-1	認可外保育施設等利用給付費	千円 3,878

1 概 要

令和元年10月から新たに実施される幼児教育・保育の無償化(以下「無償化」という。)において、3~5歳の全ての子どもと0~2歳の住民税非課税世帯の子どもについて、幼稚園・保育所・認定こども園等の認可施設の利用料が無料となる。

併せて、子ども・子育て支援新制度に移行していない、私学助成の幼稚園の利用料や、認可外保育施設等の利用料についても、子育てのための施設等利用給付制度により、一定の上限額まで支給される。

施設等利用給付の支給事務を行うにあたり、定型的な請求書等の整理・データ入力等を民間事業者に委託することで、無償化により増大する事務の効率化を図るもの。

2 事業内容

(1) 支給対象となる利用料

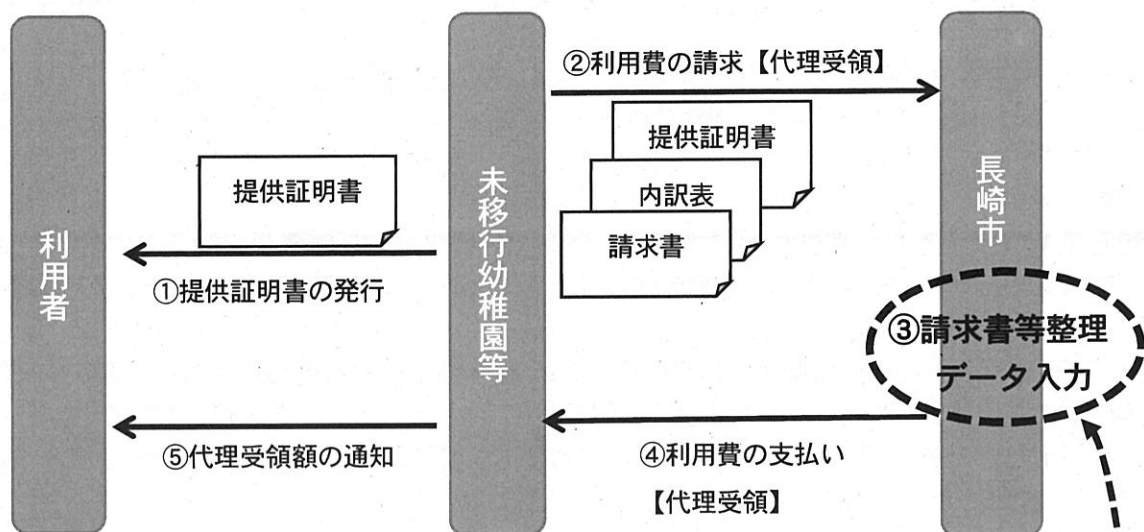
利用料の種類	対象施設	児童1人あたり上限額	支払方法
保育料 及び 入園料	幼稚園(私学助成)	25,700円/月	・施設による法定代理受領(現物給付) ・施設から市へ請求を行う
預かり 保育	・幼稚園(私学助成) ・幼稚園(施設型給付) ・認定こども園	11,300円/月	・年2回(4月及び10月)、6か月分を概算払とする ・施設数 54件/回
その他 (複数施設の利用が可能)	・認可外保育施設 ・病児・病後児保育施設 ・ファミリー・サポート・センター ・一時預かり (保育所・認定こども園) ・ベビーシッター	37,000円/月 (3歳~5歳) 42,000円/月 (0歳~2歳)	・利用者あて償還払い ・児童ごとに複数利用の上限額を管理 ・利用の翌月以降に請求を受け付け、請求月の翌月払とする ・申請件数見込 約1,000件/月

(2) 業務委託の概要

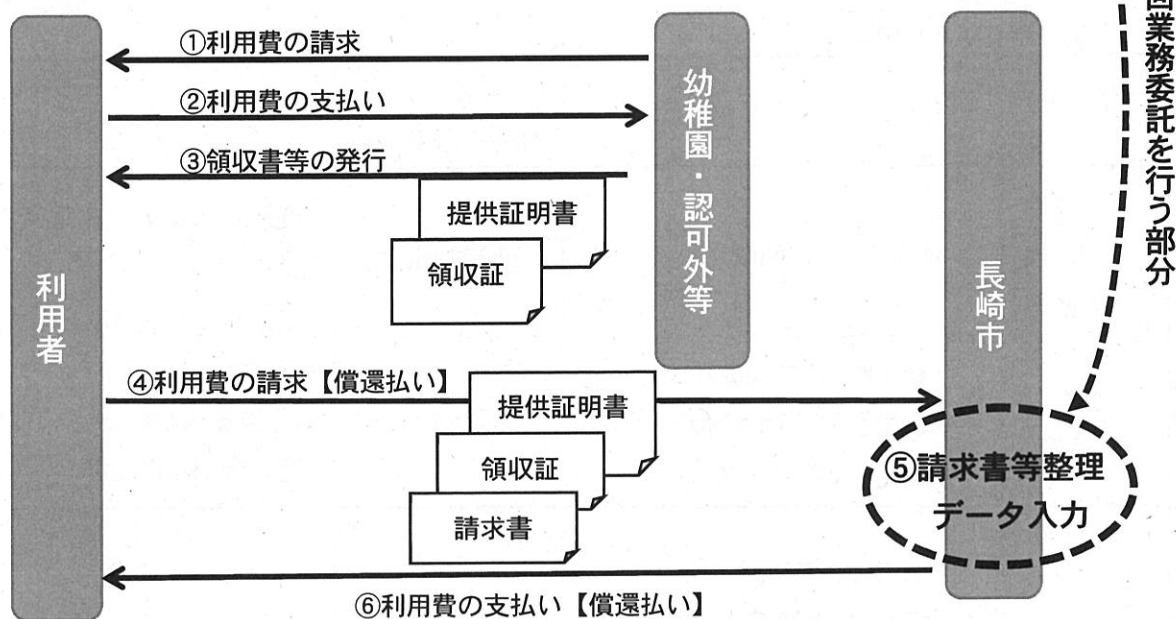
- ア 提出書類(請求書・提供証明書等)の整理及び管理
- イ 提出書類の内容確認
- ウ 提出書類のデータ入力作業
- エ 償還払いにおいて、複数利用の上限額を管理
- オ 支出書類の作成

(3) 支払事務のフロー

ア 現物給付



イ 償還払い



3 事業費内訳

委託料 3,878千円

4 財源内訳

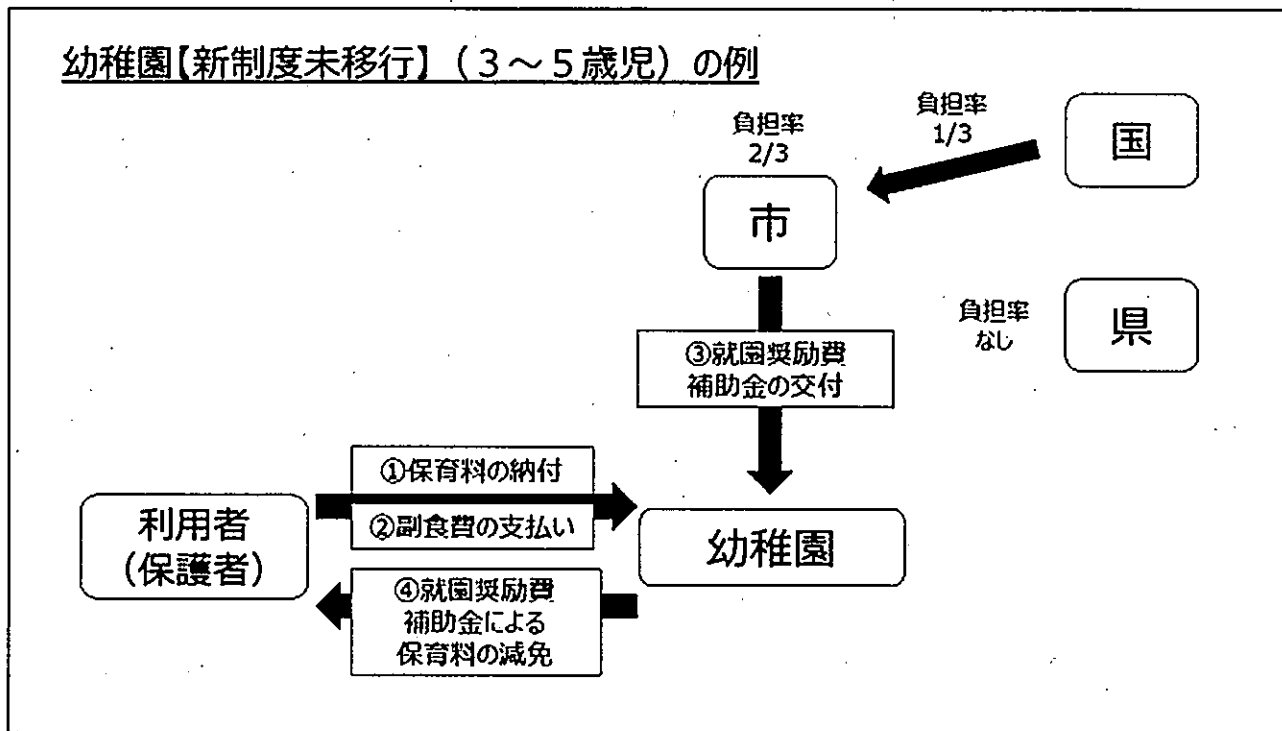
事業費	財源内訳				
	国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 3,878	千円 3,878	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -

※財源負担割合 国 10/10

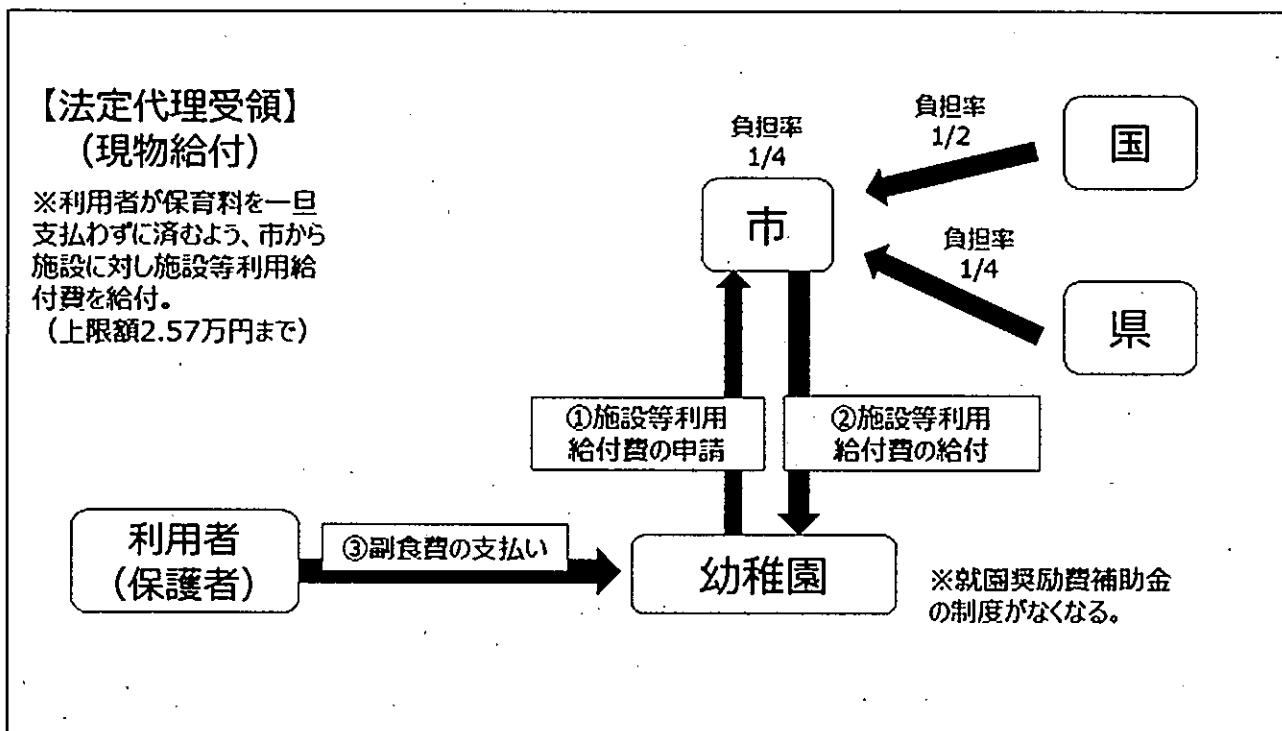
無償化全般にかかる事務費については令和2年度まで国が10割負担。

対象者別 利用料の新旧対照フロー

【現行】

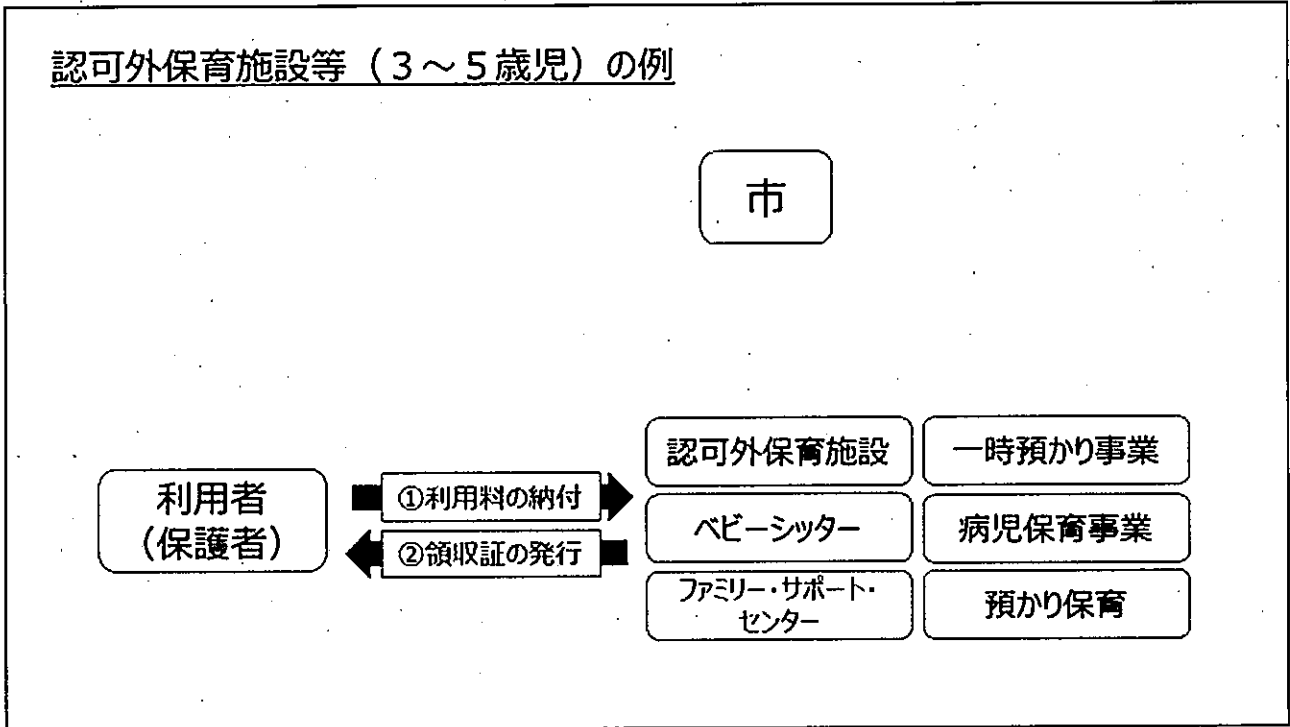


【令和元年10月以降】

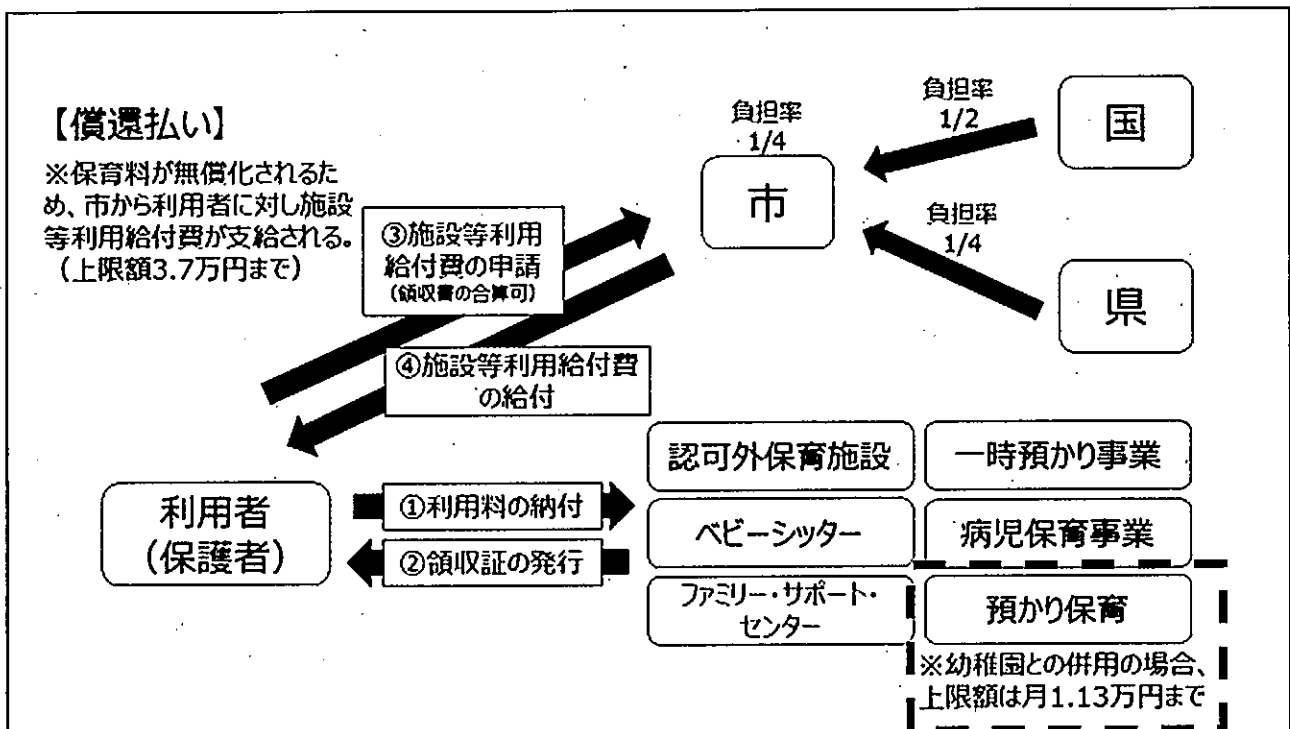


※国・県・市の負担割合は令和2年度以降のもの（令和元年度は国が全額負担）

【現行】



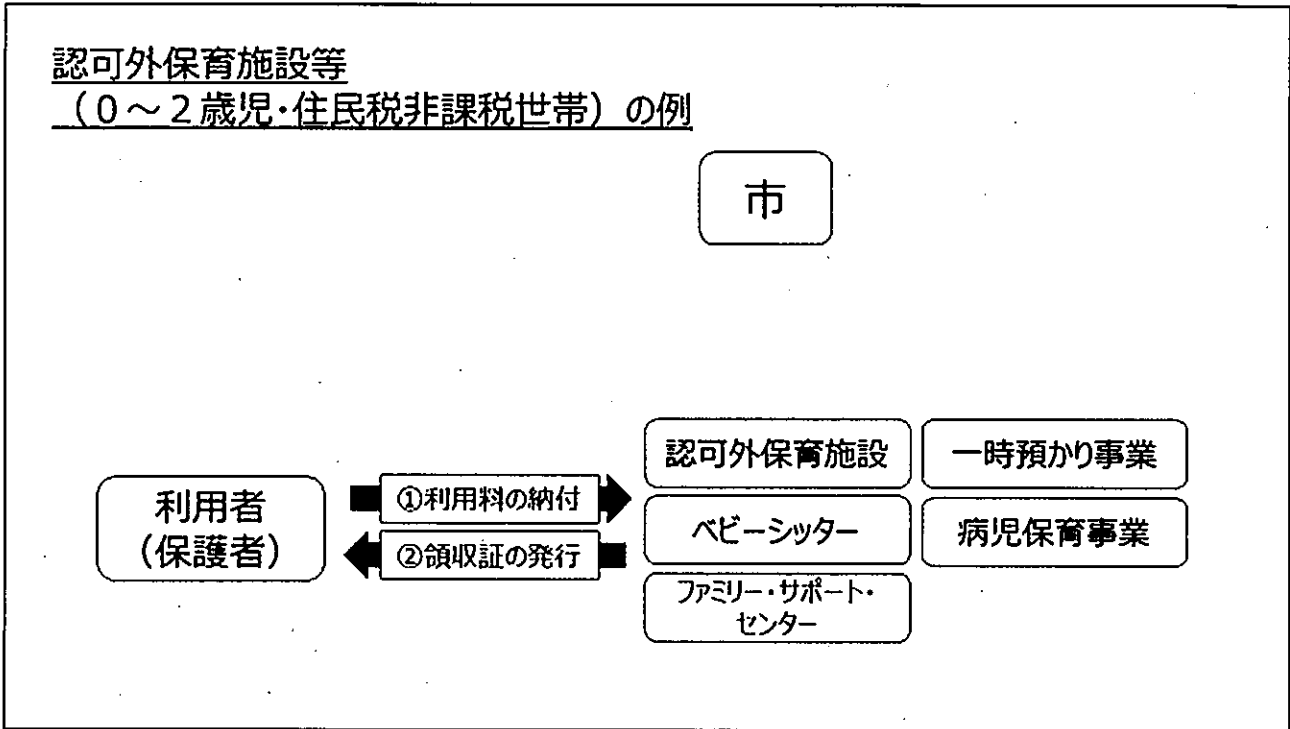
【令和元年10月以降】



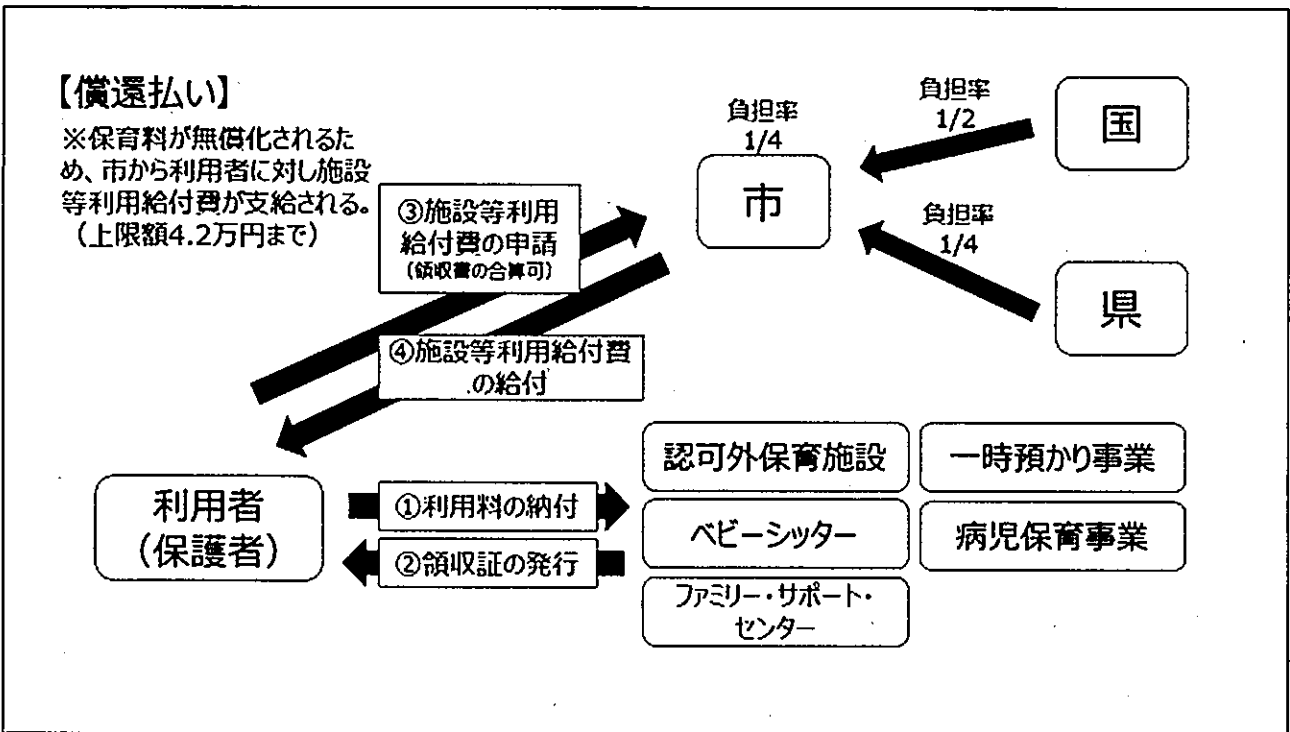
※国・県・市の負担割合は令和2年度以降のもの
 （令和元年度は国が全額負担）

預かり保育は単独での上限額設定となるため、利用者の負担減を考慮し、現物給付に変更する

【現行】



【令和元年 10 月以降】



※国・県・市の負担割合は令和2年度以降のもの（令和元年度は国が全額負担）

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
22～25	3 民生費	2 児童福祉費	1 児童福祉 総務費	2-1	放課後児童健全育成費	千円 ▲15,581

1 概 要

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や土曜日、長期休業期間等に適切な遊びや生活の場を与えてその健全な育成を図るため、国の子ども・子育て支援交付金を活用し、放課後児童クラブの運営に対して補助を行っているが、運営費等に係る補助基準額が増額改定されたことに伴い補助額を増額するもの。

また、放課後児童クラブからの障害児受入費等の補助申請額が見込みを下回ったことにより生じる不用見込額を減額するもの。

2 事業内容

(1) 運営費等に係る補助基準額を増額 (42,856千円)

補正額の内訳

(単位：千円)

区分	該当 クラブ数 (支援の単位数)	交付決定額		補正額 ②-①
		改正前①	改正後②	
①基本額	157	647,058	673,257	26,199
②開所日数加算	148	76,160	80,640	4,480
③長時間開所加算(平日)	18	5,636	6,237	601
④長時間開所加算(長期休暇等)	154	58,094	59,944	1,850
⑤小規模放課後児童クラブ支援事業	4	2,236	2,300	64
⑥障害児受入費(加配1人目)	87	155,365	160,689	5,324
⑦障害児受入費(加配2人目)	6	9,597	11,082	1,485
⑧放課後児童クラブ送迎支援事業	2	616	958	342
⑨放課後児童支援員 キャリアアップ処遇改善事業	53	20,913	23,424	2,511
合計		975,675	1,018,531	42,856

※補助区分毎の改正額(新旧対照)については別紙参照。

(2) 不用額が見込まれることによる減額 (▲58,437千円)

補正額の内訳

(単位：千円)

区分	当初予算額 ①	執行見込額 (交付決定額) ②	不用見込額 (補正額) ②-①
障害児受入費(加配1人目)	181,396	155,365	▲26,031
障害児受入費(加配2人目)	23,348	9,597	▲13,751
放課後児童支援員等 処遇改善事業	160,431	151,014	▲9,417
放課後児童支援員 キャリアアップ処遇改善事業	36,115	26,877	▲9,238
合計	401,290	342,853	▲58,437

(3) 今回補正額

(1) + (2) = ▲15,581千円

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	※1 国庫支出金	※2 県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
▲15,581	▲5,193	▲5,193	-	-	▲5,195

※1 国庫補助率 1/3

※2 県補助率 1/3

参考：放課後児童クラブの状況 (R1.5.1現在)

区分	令和元年度の状況
クラブ数	96クラブ
支援の単位数	157支援
登録児童数	5,881人
小学校児童数	18,975人
利用率	31.0%

【別紙】 補助基準額改正の新旧対照表 ※補正に係る項目のみ

区分	旧	新
① 基本額	(ア) 1~19人 $2,238,000円 - (19人 - 児童数) \times 27,000円$ (イ) 20~35人 $4,306,000円 - (36人 - 児童数) \times 25,000円$ (ウ) 36~45人 $4,306,000円$ (エ) 46~70人 $4,306,000円 - (児童数 - 45人) \times 53,000円$ (オ) 71人以上 $2,917,000円$	(ア) 1~19人 $2,305,000円 - (19人 - 児童数) \times 27,000円$ (イ) 20~35人 $4,484,000円 - (36人 - 児童数) \times 25,000円$ (ウ) 36~45人 $4,484,000円$ (エ) 46~70人 $4,484,000円 - (児童数 - 45人) \times 60,000円$ (オ) 71人以上 $2,917,000円$
② 開所日数加算	$(年間開所日数 - 250日) \times 17,000円$	$(年間開所日数 - 250日) \times 18,000円$
③ 長時間開所加算 (平日)	1日6時間超かつ18時超の年間平均時間数 $\times 378,000円$	1日6時間超かつ18時超の年間平均時間数 $\times 392,000円$
④ 長時間開所加算 (長期休暇等)	1日8時間超の年間平均時間数 $\times 170,000円$	1日8時間超の年間平均時間数 $\times 176,000円$
⑤ 小規模放課後児童クラブ支援事業	$559,000円$	$575,000円$
⑥ 障害児受入費 (加配1人目)	$1,796,000円$	$1,847,000円$
⑦ 障害児受入費 (加配2人目)	$1,796,000円$	$1,847,000円$
⑧ 放課後児童クラブ送迎支援事業	$466,000円$	$479,000円$
⑨ 放課後児童支援員 キャリアアップ処遇改善事業	(1) 支援員 $125,000円$ (2) 経験5年以上で一定の研修受講の支援員 $251,000円$ (3) 経験10年以上で事務所長的立場の者 $377,000円$ ※1支援の上限 $878,000円$	(1) 支援員 $128,000円$ (2) 経験5年以上で一定の研修受講の支援員 $256,000円$ (3) 経験10年以上で事務所長的立場の支援員 $384,000円$ ※1支援の上限 $896,000円$